



【今号の紙面から】

豊島祭半世紀を振り返る	3
部活動報告	4
サッカー部都ベスト8に!	5
インタビュー:ディレクターひとすじ ～小山靖史さん	6
同期会だより	8
代議員会報告他	11
寄稿:草原の国 モンゴルに赴任して ～四釜 嘉総さん	12

6月2日・同窓会 年に一度の

親睦会

- ☆2013年(平成25年) 6月2日(日)
午後1時から・豊島高校にて
- ☆予約不要・お誘い合わせてご参加下さい。
- ☆おいしい料理と抽選会有!
- ☆参加費2,000円
但し卒業4年以内は無料!(2010年(平成22年)3月以降卒業の方)

ホームページもご覧ください

柏豊会の最新情報を発信しております。
ぜひアクセスを!

下記アドレスを入力ください

<http://www.hakuhou.biz>

お問い合わせはmember@hakuhou.biz



学校の近況から



豊島高校校長 小宮山 英明

柏豊会の皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃より本校の教育にご理解と多大なるご支援を賜り、感謝申し上げます。有難うございます。

さて重点支援校の二年目を終了し、進学実績的にはコンスタントに上位大学、難関大学への進学を支援することができています。センター試験の受験者も二〇〇名(在籍二八〇名)を超えました。一、二年生もセンター試験の同日にプレ模範を一五〇名強が受験しています。生徒たちの意識が四年制大学に進学するのは当たり前に変わってきています。年の初めに進路指導主任や担任など、多くの先生方から「来年笑うには、今からだよ。今でしょ。」と激励されました。家庭学習の時間も二年生が一年次より増やしています。こ

れは進路の自己実現に向けての努力をうかがわせることです。

昨年の部活動実績については、サッカー、バドミントン、テニスが地区予選を勝ち抜き都のベスト8(12)に入りました。バスケ、バレーも着実に力をつけています。ブラスバンドは地区大会からの「推薦を受け、全国コンクールへの代表校選びである」都大会に出場するベスト8校に入りました。サッカー部は八十名、ブラスバンドは最大一〇〇名の部員を抱えています。当然、楽器が足らなくなり、近隣から常時借り受けているような状況が続いています。環境条件は悪いのですが、どの部活動も、毎日、また週休日にも練習をしていますから、放課後の時間帯は活気があふれている状況です。不殿譲前校長が「文武両道」と唱

え続けてきてくれたことが、実を結びつつあると感じています。

この一年間、生徒たちの部活動、学校行事での活躍の様子や学校での学習に取り組む姿勢を見てきました。「至誠」は常に生徒の心にあるとみえ、その現れを目にすることもあります。挨拶もさることながら、「ありがとう」と声にだせるといふことは、相手の気遣いが判るということ、自らがその気持ちを持つていないと決して気づかないことです。優しいなと思ふことが多いです。

さて、少し不満も述べておきましょう。自らの可能性を信じ、より高き目標に向けて、あきらめずに行動できる強い心。これがまだまだ足りないと感じます。自信過剰も問題といえますが、高校生の可能性の広がりを考えたら、少し

が差し込んだ様な気がします。

同窓会として今年も母校への部活動補助、文化財保護への支援、文化祭では公開講座として今年六年目になる特別講演会「ハートtoハート」をPTA・(財)豊島会と共同で開催、命の大切さを考える大切な講座で難しい問題も抱えています。皆さんと一緒に語りあう事が出来たらと思います。二年前から同窓会コーナーもありますのでご利用下さい。

今年の親睦会も昨年に引き続き皆様に参加し喜んで頂きます様楽しい企画をしていますので是非再会の場に活用して下さい。

母校の伝統である、至誠・文武両道を大切に皆様のご活躍をお祈り致しますと共に、今後共益々のご協力を心からお願い申し上げます。

ぐらいの言壮語を吐いてほしいと思います。それを有言実行で完成させられるかどうか、いかに努力を継続できるかが重要なのです。今の生徒は負ける悔しさを知りません。負けを振り返りません。成功体験は人に自信をつけることができます。では、失敗体験はどうでしょう。人を卑屈にしてしまうのでしょうか。それを振り返って、自らの弱みを自覚して、その改善を自らの糧とするならば、人を大きく成長させると思っています。今、生徒には負けを放置するなど言っていないかと思えます。豊島高校はこれからも、社会に有為な人材を育てていきます。今後とも本校へのご支援・ご協力をお願いするとともに、会員皆様のお一人お一人のご活躍、ご多幸を祈念申し上げます。



共に一本の道を



柏豊会会長 鈴木(豊田)優子
高校14回

同窓会の皆様には、ますますお元氣にご活躍の事とお慶び申し上げます。

東日本大震災から二年・・・福島原発の問題など、まだまだ爪あとの深さを感じ心傷む思いです。被災された皆様に心からお見舞い申しあげ本日に一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。何も出来ませんが少しづつの支援を末永く続けさせて頂きたいと現在取り組んでいます。

さて今年三月九日にめでたく高校六十五回生二七七名が卒業されました。卒業式は厳粛に行われ涙の中、温かく微笑ましい光景もあり思いやり溢れた和やかな式典でした。

母校も重点支援校の二年目を修了し先生方の様々なご努力の結果国公立有名校への進学率も高く、サテライン講習他学習面、奉仕活

動にと力のこもったご指導を頂き、又、部活動も目覚ましい活躍の様子が見られとても嬉しく思います。

「あかあかと 一本の道とほりたり たまきはる我が 命なりけり」一本の道があかあかと日に照らされて続いている。この道こそがわが命であり進むべき道である。と歌人斎藤茂吉は詠んだ。師匠の伊藤左千夫が亡くなり歌人としてどう進むべきかとの自分への問いかけの答えである。「一本の道」とは師が示した道、その道を命をかけてどこまでも進むという決意を表している。私達も母校で学び教えられた事々を規範にますます成長して行きたいと思えます。

先生方からも在校生について大人しくて、それは素晴らしいけれどももう少し自信を持って欲しいとの誇りで自分自身の一本の道を

しっかり進んで行き、又、この校風をお互いに持ち続けて行きたいと思えます。

昨年は五月に英エリザベス女王の即位六十年のお祝、十一月には米大統領にオバマ氏が再選されました。又、十月二十九日には大型ハリケーン「サンディ」米で百人以上の死者も出たりと悲惨な事もありました。

日本では東京スカイツリーが五月二十二日、三年十ヶ月を駆け開業、十月にノーベル生理学、医学賞が、様々な種類の細胞に変化出来るIPS細胞を作製した(日本人の受賞は二十五年ぶり)京都大学の山中伸弥教授ら二人に贈られました。又、七月二十七日開幕から八月十二日まで十七日間のロンドン五輪では史上最多のメダル三十八個という快挙をとげ東日本大震災の悲しみの中の日本に少しの光

が差し込んだ様な気がします。

同窓会として今年も母校への部活動補助、文化財保護への支援、文化祭では公開講座として今年六年目になる特別講演会「ハートtoハート」をPTA・(財)豊島会と共同で開催、命の大切さを考える大切な講座で難しい問題も抱えています。皆さんと一緒に語りあう事が出来たらと思います。二年前から同窓会コーナーもありますのでご利用下さい。

今年の親睦会も昨年に引き続き皆様に参加し喜んで頂きます様楽しい企画をしていますので是非再会の場に活用して下さい。

母校の伝統である、至誠・文武両道を大切に皆様のご活躍をお祈り致しますと共に、今後共益々のご協力を心からお願い申し上げます。

豊島祭半世紀

最近、豊島高校文化祭「豊島祭」へ足を運んだことのある方なら表紙のアーチはお馴染みかと思えます。今回、五十回目を迎えた豊島祭にスポットを当ててみました。



第1回豊島祭のパンフレット



■まず豊島祭の歴史から

第一回目「豊島祭」は、一九六三(昭和三十八)年に開催されました。それ以前は、豊島祭という名称ではなく、単に「文化祭」と呼ばれていました。公式パンフレットによると、文化祭と体育大会を同時期に開催していたようです。文化祭の案内図に「吹奏楽控(室)」とあり、文化祭の中で、今の舞台祭に相当するプログラムもあったと推測されます。

■現在の豊島祭は？

昨年九月十五・十六日で開催された豊島祭はどうだったのでしょうか？ 出展団体は、クラスは全クラスが出展。劇やゲームを行うクラスや、中庭の模擬店でお好み焼きやたこ焼きを販売するクラスも。模擬店には、生徒が作るフードを求め多くの来場者が列を作りました。クラス以外では、吹奏楽部の演奏会や演劇部の上演、各部活動の発表もありました。その他に、有志でダンスを行う団体もあり、出展団体は三十四団体にも上りました。そして、豊島祭では来場者の投票による「豊島大賞」を決定。昨年の栄えある大賞は、一年二組による劇「ドラずきん」と白あん姫」だったそうです。

■同窓会サロンでもおもてなし

柏豊会では、二〇一一(平成二十三)年の文化祭より豊島祭に出展をしており、「同窓会サロン」として、同窓生より寄せられた思い出写真(アルバム)の展示やスライドの上映を行い、同時にお茶を用意して休憩スペースとして来場者の方に広くご利用頂いております。

今年も九月十五・十六日の豊島祭の中で開設予定です。詳しくは、柏豊会のホームページでお知らせします。(アドレスは一頁下に)

■舞台祭でも同窓生が活躍

昨年の練馬文化センターで開催された舞台祭では、「舞台朗読」の第一人者である高校三回の幸田弘子さん(三善(白田)弘子さん)が、生徒の前で朗読を披露、生徒はその世界に聞き入ったそうです。



写真は柏豊会70周年祝賀会のものです。



懐かしい同窓会館の絵は、富永くに子さん(高校27回)よりお借りし、同窓会サロン内に展示しました。



第50回豊島祭のパンフレット

写真で振り返る豊島祭



1964(昭和39)年 校庭でフォークダンスのこの光景、後夜祭の様子と思われます。



1962(昭和37)年 “豊島祭前夜”の“文化祭”と呼ばれていた頃



1975(昭和50)年発行の「田園」21号より 当時は標準服扱いで制服以外で通学する生徒が大多数。今も続く弁論大会では、硬派な豊島生が熱弁を振ったといえます。



2004(平成16)年 映画でも話題となった“ウォーターボーイズ”が有志によって披露されました。



2011(平成23)年 この年の3月に起きた東日本大震災を受けてのテーマとなりました。



★同窓会七十周年記念の企画で思い出写真真を募集した際に、湯浅(田中)千代さん(高女三回)より貴重な写真を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。今回はアルバムにまとめて皆さんに披露しました。下はそのアルバムの中の一コマです。↓



1988(昭和63)年 この回はシンボルマスコット?もデザインされ、実物も作成されました。このマスコットは「狐」をモチーフにしたもの。

平成二十四年度 部活動報告

男子硬式テニス部

四月 インターハイ個人
五月 インターハイ団体
六月 都立戦団体
七月 夏合宿
九月～十月 新人戦個人

東京都高等学校テニス選手権大会
個人の部シングルス予選五回戦
ダブルス予選五回戦

東京都高等学校新人テニス選手権大会
シングルス予選四回戦
ダブルス本戦二回戦

女子硬式テニス部

四月 東京都高等学校テニス選手権大会
個人の部シングルス予選五回戦
ダブルス予選三回戦
五月 東京都高等学校テニス選手権大会
団体の部予選五回戦
七月 都立対抗テニス大会
団体の部予選二回戦

九月 東京都高等学校新人テニス選手権大会
個人の部シングルス予選三回戦
ダブルス予選三回戦

ソフトボール部

四月 春季大会
五月 インターハイ予選
七月 公立選手権大会、城北大会
八月 合宿
九月 公立新人戦
十月 新人戦

男子バスケットボール部

四月 春季大会関東予選
五月 東京都選手権全国大会予選
八月 合宿
十月 新人戦支部大会

女子バスケットボール部

四月 春季大会
五月～七月 総合体育大会
八月 夏季大会
十月 研修大会二位リーグ一位

軟式野球部

七月 夏季大会
八月 秋季大会、都大会ベスト16

男子バレーボール部

四月 関東大会東京予選
六月 インターハイ予選
七月 合宿
八月 サマーカップ
夏季都立大会ベスト16

女子バレーボール部

四月 春季リーグ戦春季トーナメント戦
春季関東大会予選リーグ優勝
春季関東リーグ決勝二回戦
(ベスト64)

六月 インターハイ予選
サンフラワーカップ、夏季大会
八月 インターハイ兼国体予選四回戦
夏季大会四回戦
新人リーグ戦優勝
新人戦決勝二回戦

ソフテニス部
四月 関東大会個人予選三回戦(女子)
春季大会(関東選手権予選)
ブロック決勝(男子)

五月 東京総合体育大会全国総体個人予選兼東京選手権ブロック決勝
関東大会団体予選(女子)
全東京選手権兼全日本選手権予選ブロック決勝

七月 関東団体選手権予選二回戦(男子)
国体選考会二回戦(女子)
国体選手権予選会ブロック決勝(男子)

八月 城北地区大会予選ブロック決勝
新人大会予選三回戦
新人大会本戦ベスト64(女子)

九月 普及研修大会三回戦(女子)
新進大会予選ブロック決勝(女子)

十月 サッカー部
四月 インターハイ地区予選
五月 インターハイ都大会
八月 夏合宿
選手権地区予選
体験入部
選手権都大会

陸上部

四月 支部春季競技会
都高校総体支部予選会
五月 北区陸上競技記録会
東京都高校総体
六月 東京リレーカーニバル
男子1500m、女子1500m
七位入賞
支部学年別大会
一年女子2000m 七位入賞
(都大会進出)

三年女子1500m 七位入賞
一年男子2000m
一年女子1000m決勝
都高校選抜一年生大会(都大会)
一年女子2000m
渋谷区陸上競技会
支部夏季競技会

八月 支部新人予選会男子800m決勝
豊島区民大会男子4×1000m
女子2000m 三位入賞
女子1000m決勝
北区陸上競技選手権大会

九月 関東大会予選(団体戦)
ブロック決勝
インターハイ予選都ベスト12
新人戦I部大会(個人戦)
ベスト32
新人戦I部大会(団体戦)

十月 卓球部
八月 区民大会予選

吹奏楽部
六月 体育祭演奏
バンドフェスティバル
強化合宿(秩父)
吹奏楽コンクール三年連続
A組金賞

八月 都大会(全国予選)銅賞
舞台祭、文化祭演奏
アンサンブルコンテスト木管八重奏金賞、金管八重奏銀賞

九月 文化祭準備
四月～九月 アロマキャンドル作り

演劇部

四月 新入生歓迎公演
六月 新人公演
七月 合宿
九月 舞台祭、文化祭公演
十月 地区大会

茶道部
六月 東京都高等学校文化連盟茶道部門大会
八月 東京都高等学校文化連盟茶道部門研修会
九月 文化祭での茶会
十月 東京都高等学校文化連盟茶道部門研修会

料理研究部
四月 入部(バナナカップケーキ)
五月 料理(チョコクッキー・肉まん)
六月 料理(ペペロンチーノ)
七月 文化祭で販売するお菓子の試作(クッキー・タピオカ)
九月 文化祭でのクッキーとタピオカの販売・料理
十月 料理(チョコパイ・スイートポテト・かぼちゃプリン)

美術部
八月 学展、豊島祭準備
九月 豊島祭
十月 中央展準備

パソコン部
四月 HTML学習
五月～十月 部員各自の自由活動(ゲーム・ビデオ・ホームページなどの制作)

マジック同好会
九月 文化祭、舞台祭

漫画イラスト同好会
四月 見学者に部誌配布
七月 部誌「ぼどぶれ」制作
九月 夏部誌制作と配布

(豊島高校PTA会報より・記事使用許諾済)

豊島高校サッカー部

全国高校サッカー選手権大会東京都予選ベスト8の快挙!!



二〇一二年十月二十八日、朝からの雨が降る中、準々決勝を迎えた。サッカー部の悲願である、西が丘の準決勝まであと一勝。全国大会まであと三勝に迫っていた。相手は夏の高校総体にて東京代表として全国大会を経験している実践学園。今年の東京都の頂点に君臨する学校である。序盤、堅さの见られる豊島に対して実践学園は猛攻で二点を取る。

豊島はこの失点から堅さが取れ、いつものリズムで反撃に出る。後半の終了間際に三ポイントを取られるまでは互角の戦いをしていた。

3-0での完敗。強豪校の壁に跳ね返された。

試合終了後、現役最後の試合特有の涙は見られなかった。悔しいのであろうが、「やりきった」充実感に満ちた表情が印象的だった。

大学受験を控えながら「夢」の為にここまで残って戦ってくれた三年生に敬意を表したい。

そして、この大会を共に戦った一、二年生には、彼等の成し遂げた「東京都ベスト8」を超えられる様に日々精進していただきたい。(実践学園はその後、東京都予選を勝ち抜き全国大会二回戦まで進んだ。)

上山昂輝君(当時三年キャプテン・今春卒)のコメント

「豊島高校史上初の都大会ベスト8という結果は素直に喜ばしいことです。一人一人が試合に臨むにあたって、モチベーションやコンディション調整を怠らなかつた事が、このような結果に結びついたと思います。このように、コンディション調整を怠らず、向上心を持って練習を積み重ねていけば、強豪校と互角に渡り合える力がついてくると思うので、後輩には頑張ってもらいたいです。」

渡辺太郎君(当時二年・現在三年)のコメント

「三年生の引退試合になってしまっても残念です。もっと、毎日の練習に死に物狂いで取り組んでいたら結果は

変わっていたかもしれませぬ。僕等にはまだ一年残っています。この一年間で西が丘に行けるか、また悔しい思いをするのかの分かれ目だと思っております。自分はまだキャプテンとしてチームをまとめる力はありませんが、全員で助け合い必ず今年の冬に西が丘で自信を持ってプレー出来る様に頑張っていきたいです。」

二〇一三年三月十日(日)サッカー部OB会が行われました。大勢のOBと現役サッカー部の参加で、とても盛り上がりました。

今のサッカー部の情報を知りたい方、及び在校時にサッカー部だった方は『豊島高校サッカー部OB会』で検索してください。

サッカー部OB会



変わっていたかもしれませぬ。僕等にはまだ一年残っています。この一年間で西が丘に行けるか、また悔しい思いをするのかの分かれ目だと思っております。自分はまだキャプテンとしてチームをまとめる力はありませんが、全員で助け合い必ず今年の冬に西が丘で自信を持ってプレー出来る様に頑張っていきたいです。」

二〇一三年三月十日(日)サッカー部OB会が行われました。大勢のOBと現役サッカー部の参加で、とても盛り上がりました。

今のサッカー部の情報を知りたい方、及び在校時にサッカー部だった方は『豊島高校サッカー部OB会』で検索してください。

サッカー部OB会



卒業生進路状況

(平成25年3月末現在 豊島高校進路指導部調べ)

●進路別人数 (2013年3月卒業(高校65回生)277名)

大学	指定校推薦	男		女		計	191名 (69.0%)
		9	21	3	31		
	公募推薦	3	31	71	56	127	
	一般入試	71	56	0	2	2	
短期大学	指定校推薦	0	2	0	4	4	13名 (4.7%)
	公募推薦	0	4	1	6	7	
	一般入試	1	6	0	4	4	
専門学校	指定校推薦	0	4	6	14	20	33名 (11.9%)
	公募推薦	6	14	5	4	9	
	一般入試	5	4	0	0	0	
就職	就職	0	0	31	5	36	40名 (14.4%)
その他	浪人	31	5	3	0	3	
	公務員	3	0	1	0	1	
	その他	1	0				

●進路決定率(浪人等を含みません): 86.6%

●最近5年の進路状況推移

卒業年月(平成)	卒業生数	大学	短大	専門	就職	その他
21年3月	233	144	18	23	3	45
22年3月	235	158	7	31	1	38
23年3月	240	166	8	23	1	42
24年3月	232	144	12	30	1	45
25年3月	277	191	13	33	3	37

(注:人数は卒業時点の数字です。既卒者は含みません)



ディレクターひとすじ

小山 靖史さん(高校32回)

豊島の同窓生には、俳優としてテレビなどに出演されている方も少なくありませんが、テレビ番組の制作に携わっている方で、今回はNHKでディレクターとして活躍されている小山靖史さんにお話を伺いました。小山さんは最近、あの世界的俳優である渡辺謙さんと共に東日本大震災の被災地を訪れ、復興への道のり取材したドキュメンタリー「明日へく支えあおう」を制作されました。

■お久しぶりです！山口先生

「まず、豊島高校に入学したいきさつからお聞かせ下さい。」

小山 学校を事前に見にも行っていなかったし、別にそんなこだわりはなかったですね。当時は学校群の制度で、その中で抽選で当たったようなものです。では、豊島のエピソードについてお聞かせ下さい。

小山 五年ほど前でした。三年生の時の担任だった山口千鶴子先生がNHKスペシャルをご覧になって、番組の最後にスタッフ名を記すロールトップというのがあるんですが、そこで私の名前を見つけて下さったんです。わざわざNHKのコールセンターに「私の教え子ではないか？」と電話をかけて下さって、コールセンターの人が探し当てたんです。そこから、年賀状く

らいですが交流が復活しました。とても嬉しかったです。

■バレー部ひとすじ？の在学中

「在学中、例えば、部活は何かやっていましたか？」

小山 バレー部にいたんですよ。一年上の先輩方がめちゃくちゃうまかったですね。私も中学で一応やっていたんですけど、高校の練習を一回見ただけで、「こりゃ、かなわないな」と思いました。特に森さん、志村さん、関口さん、渡辺さん、高橋さん、この五人が本当に上手でしたよ。東京都の大会などに行くと、確か川合俊一さんの試合なんかもちよつと見たことがあるような。ほんと、上には上がいるもんだなと思っちゃいましたね。

同期にも、うまいのがいたんですよ。セッターの井出君って言うんですけど。彼は今どうしているんだろう？

バレー部は練習が週四〜五日だったと思いますが、半分くらいは外練習でした。その時にフライングレシーブと言って胸で滑って飛び込む練習をよくしていたんですが、練習着の胸の部分がポロポロになってしまってますね。そこに雑巾を縫い付けて、繰り返し洗ったのをよく覚えてます。あの練習着は今でも持っていますよ。

■合宿はありましたか？

小山 真夏の合宿は、同窓会館でやりました。その時におにぎりにカレーをかけて食べたことを、なぜか今も覚えてます。あと、覚えているのは、練習が終わると、校門の向かいのパン屋さんに行って、「チエリオ

を飲むのが楽しみでした。コラコーラとかよりもちよつと瓶がでかい炭酸のジュースでした。

■あっていたんじゃない!? 当たって早稲田へ合格!

「ところで、大学はどうでしたか？」

小山 二浪したんですよ。なかなか受からなかったなあ。一番最初はどの大学を目指していたんですか？

小山 目指すのは簡単ですからね。北大でした。でも、あの時、共通一次試験があつて、その試験の後に体育の授業で足を骨折しちゃったんですよ。そこから結構つらくて。まあ、別にそれは足を折らなくても合格はしなかったんですけど。骨折した後も受験勉強して、一応北海道にも松葉杖をつきながら雪でつるつる滑るようなところへ行つて。やっぱり滑ってたつていう話ですよ(笑)

初年度はここだけです。その頃は、国立志向があつたんですよ。一浪の時、どこも受からず、二浪しても二校くらいしか受からなかったんですよ。二浪が決まった時に、「二生自分の名前は大学の掲示板上に出ないんじゃないかな」という不安に駆られましたね(笑)

■いづれにしても、見事早稲田大学に受かったのですよ

小山 漢文の選択問題が全部当たっていたんですよ。あつていたんじゃないですよ。全部、当たっていたんですよ(笑)あとから答合わせしたら「全部当たっている!」って。勘のところがあつたんですよ。

小山 勘だけです。

■早稲田では、どこの学部へ進んだのですか？

小山 第一文学部の社会学専修です。

■社会学の何に魅力があつたんですか？

小山 何でしょうねえ。現代社会に興味があつたんです。世の中の事をわかるようになれるのかなと思つたんじゃないのかなあ。

■いよいよNHKへ!

「NHKに入られたきっかけは何ですか？」

小山 わりとマスコミに行きたいというか、クリエイティブな仕事をしたいていうのは何となく思っていましたね。

テレビ局も何社か受けましたよ。なんでNHKにしたのかというと、NHKは最初から採用が記者職とかディレクター職とか細分化されているので、確実にそれになれるんですね。民放だと、入っても営業にされちゃう可能性もあるんで、それが大きかったですね。

入社してNHKの若い人たちはみんな最初は地方で修業してきなさいって言われるんで、僕は人生で初めて東京暮らしを止めて、岩手の盛岡放送局に行つたんですよ。全く知らなかったんで、最初、盛岡放送局って言うわれたときに、青森かって思ったくらいですから(笑)

■そこではどんなお仕事をされたんですか？

小山 もちろん番組制作をしました。ローカル番組ですね。最初は生放送から勉強して、三分

のミニコーナーみたいなを作ったりとか。大きな番組の手伝いをやるよりは、小さな番組を自分でやったほうが早くスキルアップできるんですよ。

■盛岡にはどれくらいいたのですか？

小山 盛岡に四年くらいいて、「おかあさんといっしょ」や「のだ自慢」も作つたし、高校野球の中継もやつたし、それから全国放送の或るコーナーをやつたり、時には自分でリポートしたりとかしました。そういう中で、市井に生きる普通の人たちを撮ってリポートを作るっていう、割とドキュメンタリーと言われるジャンルの仕事で面白いんだなということに気付いて、東京に来てからは、ほぼずっとそれをやっていました。

■渡辺謙さんと一緒に仕事をすることになったきっかけは？

小山 僕が取材していたテーマに、謙さんが興味があるというのを他から聞いたんです。それで、「一緒にやりませんか?」ってオファーしたら、「やりましょう」という話になって。五年前、謙さんはハリウッドで頑張っていた時で、基本的にその頃は日本のテレビも映画も出なかつた方なんで、壁は厚いかなと思つたんですけど。広島で被爆しアメリカで戦後を生き「日系人ヒバクシャ」の番組が最初でした。今、インターネットのウィキペディアで「渡辺謙」を調べて、出演作品のドキュメンタリーというジャンルを見ていたんだけどいいんですが、あそこに出てくる七本の番組は、すべて私との制作です。

—結構、海外へ行く機会が多いですね。

小山 そうですね。NHKの中でも特に多いですね。国際的なテーマが割と多いってことですかね？

ずっとドキュメンタリーの仕事で、今は、大型企画開発センターというところにいます。いわゆるNHKスペシャルという枠で、大河ドラマ『八重の桜』の後にやっている番組を専門に作っているセクションです。僕は中国とかアメリカを中心に取材することが多いです。

—今、国際的に話題の中国もよく取材されているんですね。

小山 まさに国際理解という点に今は日本人が内向きになっていると言われているから、そういう国際理解が進めばなあ、という意味で「世の中の役に立てば」と思っています。

■変わったところも行ききました
—アメリカや中国以外にも行っただけですか？

小山 ほんと、いろいろな所へ行きましたよ。内戦が終わった直後のコンゴとか。

ソ連から独立して間もない中央アジアのトルクメニスタンとかね：首都のアシガバートって言ったって、何にもないんですよ。明日の昼飯どうやって食おうか？って考えながら、取材していました。午前中に取材させてもらった人のところに昼まで粘って、そこで何か食わせてもらおうかとか、って言うほどお店がなかったです。

ある時、露店で魚を揚げていて、「今日はこれにするか、これしかないもんな」って、カメラマンと二人で話していたんですが、魚の周りに魚が見えなくなるほどハエがたかるんですよ。「まいったなあ」って思ったけど、カメラマンに「これ食って死ぬか？食わずに死ぬか？どっちだ？」って話をしたら「食って死にましよう」っていうことになって（笑）

そんなことを繰り返していたら、ある時に向こうでボタンって音がしたので見たら、カメラマンが倒れていたんですよ。そこから一週間くらい全然仕事にならなくて：それがトルクメニスタンの話でした。

—コンゴでは、どうでしたか？

小山 コンゴってアフリカに二つあるんですね。コンゴ共和国と、コンゴ民主共和国と。コンゴ民主共和国というのがいわゆるザイルで今でも内戦をしていますけど：もう一つのコンゴって言うのは、二〇〇〇年頃に内戦が終わって、その直後に武器を回収する事業に密着したんですよ。内戦中に勝手に密輸して来たような武器がたくさんあるんですけど、回収事業の撮影中にも銃撃戦が起きてね。死ぬとは思わなかったけど、結構緊迫しているんだなって、身を隠しながら感じました。

■恐るべし中国！
—これだけ海外へ行っていると危機にも遭遇してそうですね？

小山 中国に行った時に、「死ぬか？」と思ったことが、一回ありました。食中毒になっちゃって、これは大変でした。二十年前くらい前の話ですけど、上海を取材していて、夜中になったら全員腹が痛くなって：この腹痛さは、ほんと死ぬかと思った。それで朝になって、すぐ保健所に通報したら、聞き取りが行われて、前日の昼飯を食ったレストランのイカが原因だということになって：とこまでは、普通の話であって：

「すごいな中国」って思ったのは、その時、中国の裁判制度について取材していたんですが、その裁判所の人たちが怒っちゃって、日本の取材チームをひどい目に遭わせたというので、その店は翌日に潰れました。

—（一同）えっ！

小山 “お取り潰し”ですね。それが話のオチです。「中国恐るべし」って思いました。

■若者よ海外へ出よう！
—仕事では海外によく行っているようですが、ご家族でも海外に行きますか？

小山 なるべく連れて行くようにしてはいるんですけど。それこそ、異文化に触れたほうがいいとは思って。三年くらい前に、何かの事件でイスラムが嫌われるような事があるという話があり「気持ち悪い」って言うような話を家族が言っていたんですね。それで「よくないなあ」と思って、その時、マレーシアに行ってみようということになりました。マレーシ

アって穏やかだけど、一応イスラムの国なので。娘とおなじ高校生ぐらいの人たちがイスラム教徒として生活しているのを見聞して、その後から娘が全然イスラムの悪口を言わなくなったんですね。やっぱり「知る」っていうことが大事だなんて思いました。

—海外に出てみるって大事なことなんですね。

小山 インターネットが普及してからは、海外との距離感も劇的に変わりました。でも、インターネットで海外のことを見ているも、結局は「わかっちゃっているような気になっている」だけです。

もしこの会報を若い子も読むんだしたら、何らかの形で海外に行く事は勧めますね。自分とか日本という国を客観視できま

* * 現在、八月放送予定の、超大物の人生を描く終戦関連の特番を準備中という小山さん。お話を聞かせて頂き、ありがとうございます。（取材：鈴木優子・綿貫昌子・赤坂保明）



同期会 OG だより

千早会復活!
(高女九回・高校二回)
平成二十五年二月十二日

千早会は、またまた復活しました。「千早会Ⅱ」は昨年で終了したのですが、元気なうちは会いたいねと言う声も多かったので「千早会Ⅲ」として再開することにしました。

昭和四十年に発足した同期会は「千早会」として平成十六年迄、翌十七年から「千早会Ⅱ」として昨年迄続き、今年からは「千早会Ⅲ」となって復活です。八十才代になっても何と元気な私達でしょうか!!但しこれからは気楽な集りにしたいと思えますので、来年からは次のように運営することになりました。今迄のような毎回の葉書のお知らせは致しません。開催日は毎年二月第一水曜日、場所は池袋メトロポリタン、ご出席の方は各クラスの世話係へ毎年一月十日迄に必ずご連絡下さるようお願いいたします。グループなどで誘い合っって自由にお考え頂きたいと思えます。

して、四十名出席の賑やかな会となりました。定員が三十六名という一室に四十名がびっしりと入って、会費もリーズナブルにお弁当でオシャレが弾みました。先生にも喜んで頂き、「来年の申込みしようかしら?」という方もあったりして、嬉しい集いでした。二月の寒い時期ですが、一年に一度の顔合せです。これからも楽しみにいたしましょう。皆様の元気なお顔にお会いできますようにと願っております。

【世話係一同】



高校六回生第三回同期会
平成二十四年十一月八日
狩野哲光

前回、平成二十二年度の会では六十七名の参加がありました。今回は五十三名でした。当初平成二十四年春開催の予定でしたが、列島を襲った未曾有の大災害の精神的影響で不肖幹事の出席が遅れて

しまったので、喜寿のお祝いも兼ねて華やかにと、秋になってからミニ音楽会の形で開くことにしました。

銀林先生・樋口先生のスピーチで始まり、大阪より参加の松村嗣男君の乾杯発声の後は、黒田寛明君が進行を担当し、今回伴奏をお願いした三十回生、岩倉さと子さんのピアノでオーブニングの気分が漲り、牧場の朝、高校三年生花、朧月夜などを瀧田宏昭君の指揮で斉唱しました。幹事達も参加し、井上み沙さんの慕情ではアンコールがでて一段と盛り上がり、亡き級友達に捧げるK君の萬霊節でちよつとしんみりした後、自由参加のカラオケタイムとなりました。

まずは瀧田宏昭君・松本欽一君他の芸達者の十八番披露がいくつつかあって、「山小屋の灯・瀬戸の花嫁・青い山脈」は女性陣の即席グループで始まりましたが、増岡久美子さんのソロが入り、ステージ狭しの大合唱となりました。

根岸春子さんの清楚な和服姿での超低音シャンソン「ろくでなし」は意外感でインパクトを与え、卒業以来、初登場の梅原瑛子さんの「白い船のある港」は多感な青春時代のムードを醸して流石、元音大の先生!と皆を唸らせました。銀林先生・樋口先生、一度ならずマイクを握っていただき、まことに有



難うございました。また、紙面の関係で紹介できなかった方々はお許しください。歌の合間に「ななじゅうなのおいおい」を頭文字に使った牛島正子さんの檄文?垂幕パフォーマンスがあつて、印象的でしたので、その一部を紹介します。「なつかしいお顔がずらりと・ながい年月をタイムスリップ十五才から十八才の青春真つ盛り・なよやかな乙女とさわやかな若者に返り涙と笑いの快いひとときです・・・以下略」最後に校歌を歌い、この次の会も続けることを皆様と確認して散会しました。

高校十一回
「親睦会での同期会」
平成二十四年六月三日
幹事一同

高校十一回生は二年に一度、同期会を開催していますが、母校で開かれる同窓会の「親睦会」を楽しみにしている同期生も多く、昨年は十五名の同期生が集まり旧交を温めました。卒業してから半世紀を過ぎましたが、まだまだ体力・気力も充実している方が多く、久しぶりに参加した方もいて、昔話に花を咲かせました。また、親睦会でのイベントもあり、楽しく過ごすことができ感謝しております。帰りには、学校の近くのカフェで次回の同期会の開催など話し合い今年の四月に開催することを、決めました。(この号が出る頃には開催されていますので内容は次号で報告させていただきます) 少子化に伴い統廃合や、閉校が相次ぐ中、母校が健在であることは、青春時代の「ふるさと」としてかけがいのないものとして、これからも我々の心

の中にいつまでも残っていくことでしょう。
校歌の「至誠、正義、希望に生き、そして胸に」を、よりどころにしていつまでも高校時代の「こころ」を、同期生一同、持ち続けたいと思っております。



☆4月13日、東武バンケットにて同期会を開催。今回は50名が参加。詳しくは次号でご紹介します。

豊島十四会 (高校十四回)

四年に一度のオリンピックイヤー毎に本開催を、またその中間にミニ開催を行ってまいりましたこの会も、日本のメダルラッシュに沸いたロンドンオリンピック開催のこの年、卒業以来五十年を迎え会員年齢も六十歳台最後の年となりました。

思い起こせば昭和三十四年四月満開の桜が咲ほこる校門をくぐり、三年後の昭和三十七年三月同じ校門を巣立つまで、共に学び、共に遊び、共に悩んだ思い出をゆつくり語り合おうと第八回同期会を開催いたしました。

平成二十四年十月十四日十二時三十分池袋東武バンケットホールにて同期

会は開催されました。参加者は恩師の田所先生を含め五十名。遠くは大阪から駆け付けていただきました。
永代司会の山岸・福井(いずれも旧姓)両氏の発声により会は和やかに始まりました。今回出席された恩師の方は田所先生お一方でしたが、卒業生を独り占めにされとても満足された様子でした。恒例になった思い出深いフオークダンスはまるで母校の校庭で踊っているかのようで、校歌も当時と変わらず声高らかに歌い上げました。
あつという間の一次会の後はすぐ上階の中華料理店へ席を移し、円卓を挟んでの楽しい二次会となりました。一次会の料理より多いくらいの料理と老酒の心地良い酔いとなつかしい想い出話に時を忘れての一時でした。その後は個々に分かれ大いに盛り上がったことと思えます。



次回は二年後…。今回出席できなかった方も勿論、どうか健康に留意されまた元氣にお会いできることを幹事一同願っております。

高校十七回 平成二十四年十月二十八日 東武百貨店バンケットホール

あいにく少し天候が良くなかった日でしたが、前回の還暦同期会後五年、約七十名の方々が遠くは高松、京都から出席をいただきました。又、今回ずっと連絡のとれなかった方も何名か出席いただけました。

席はクラス毎に前回の写真を見ながら、在学中の事、前回の同期会の事、そして現在の事等、ひととき交流をはかりました。

また、今回も大野様を中心に田中様の名司会で、各クラスのひとりづつが全員に現況を報告しました。

その後二次会にも半数近くの方が参加され時間の許す限りお話を楽しみました。

数年後、また大勢の方々の出席があればと思いつつ散会しました。

高校三十六回

平成二十四年六月二十三日に一九八四年卒同窓会を開催いたしました。

学年総数四〇七人のうち一八七人が二十八年ぶりに一堂に会しました。

今回が卒業後初めて開催される同窓会です。

先生方は五名、大塚朝治先生、和田強先生、田中一郎先生、木下時男先生、山口千鶴子先生が参加くださいました。



当日はお互いに緊張したり、会話がぎこちなかったりするのかもしれないが、それらはまったくの杞憂でした。会った瞬間に三十年前にタイムスリップ、学生時代のように語り合い、笑い合い、時にはいたずらをしたりと、どのテーブルでも笑顔があふれる素敵な会となりました。
何年かに一度集まり昔話に花を咲かせる同期がいること、それは小さなことかもしれませんが、これからの人生においてひとときのやすらぎや励ましをくれる心よりどころになると思います。
今後四年毎に開催することを宣言して同窓会は盛況のうちにお開きとなりました。
最後になりますが、開催にあたり柏豊会の幹事の皆さまに大変お世話になりました。
この場を借りてお礼申し上げます。

「通信協力費」ご協力お願いします!

日頃は柏豊会事業にご理解・ご協力誠にありがとうございます。柏豊会では会運営維持・会報充実などに向け「通信協力費」を受付し、有効活用しています。

▼送金は同封振替用紙の利用をお勧めします。ゆうちょ銀行またはお近くの郵便局からどうぞ。

▼振替用紙は、前年度入金有無にかかわらず同封されます(一部の方除く)。先の方まで送金済の方は、お手数ですが振込用紙は破棄ください。

届いていますか? 会報は同窓会の「命綱」

現在、同窓会報「柏豊」は、定期的にお送りする唯一の通信手段です。毎年約一万六千の会報を発送していますが、うち若干量が転居先不明などの理由で、お手もとに渡らず会に戻ります。

いま一度、封筒の印字をお確かめください。皆様、今回の会報封筒に印字されている【あて先・お名前】を、いま一度お確かめください。

▼振込用紙以外でお振込の場合は、左下の口座あてにお願いいたします。※他銀行から送金の場合、同封振替用紙は使用できません。また店番・口座番号の記載方法も異なるのでご注意ください。

■印字が現在の住所・名前と違う方は柏豊会へご連絡ください。■住所や名前が変わった時はご連絡ください。■お近くで会報が届いていない方がいましたらご連絡ください。

高校六回(昭和29年卒)同期会お知らせ

前回「喜寿の会」ではミニ音楽会で盛り上がりしました。次回は2014年4月9日(水) 11:30開宴です。場所: Sun-mi 高松銀座7丁目店 (ライオン裏手の昭和通り近く) 詳細案内は2014年春・3月頃発送します。問合せ 狩野哲光 03-5910-6650 (Tel/Fax) 井上み沙 03-5938-6598 (Tel/Fax)

送金口座 (ゆうちょ銀行振替口座番号) 00150-7-403846

加入者名 (受取人) 柏豊会 (都立豊島高校同窓会)

- *通信協力費として一口1,000円以上(千円単位)
*通信協力費は同窓生の任意で振込頂くもので、年会費や親睦会参加費等とは異なります。
*振替金の受領書をもって領収書に代えます。
*振替用紙上の個人情報、柏豊会で厳正に管理します。なお用紙の保管は5年間とし、以後は裁断し破棄いたしますのでご了承ください。

ご注意下さい!

同窓会や豊島高校を騙った勧誘電話の報告が寄せられています。柏豊会では「営業・物品販売等の電話勧誘」「有料での広告・原稿募集」「同窓生の主催事業への後援・賛助」を行いませんのでご注意下さい。不審な電話や勧誘行為を見聞きしたら「柏豊会」までぜひご連絡ください。

- 【物故者】平成二十四年四月から二十五年三月まで逝去の連絡を頂戴した旧職員・同窓生を掲載し、故人のご冥福をお祈り致します。(順不同・敬称略)
旧職員 桑原知幸(平成二十四年逝去)
同窓生 西田(藤沢)敏子(女一) 村山(伊藤)五月(女二) 日野(野田)光子(女三) 高久田(木村)英子(女三) 保坂(浅見)純子(女五) 吉野(服部)悌子(女五) 芝(小田)矩子(女五) 藤井(重松)啓子(女五) 高橋(堤)美智子(女六) 町田(石川)茂子(女六) 小宮昭子(女六) 秋山照(女七) 新井(新井)文世(女八) 仲原(柴田)久子(女八) 吉田(大島)久子(女八) 武笠美智恵(女八) 新井(岡本)瑠璃子(女九) 藤田(吉川)信江(高二) 上野(林)伸子(高二) 堀江(鈴木)くに(高二) 友田(角脇)千恵子(高三) 武笠秀美(高三併) 宮川広幸(高四) 高橋(渡辺)方予(高四)
須田(相川)治子(高四併) 服部邦夫(高五) 石原(石原)定子(高五) 阿藤(草野)勝之(高五) 吉家(野沢)千秋(高六) 中井(望月)啓輔(高六) 清水満雄(高六) 豊田(吉田)治子(高七) 攝待(柴崎)守代(高八) 山井(舟山)栄子(高十一) 小林(飯塚)清子(高十一) 竹ノ下(山崎)幸子(高十二) 福田(高沢)政子(高十二) 早川(岩下)亮子(高十二) 名取(淀縄)幸子(高十二) 四分一(田中)京子(高十五) 内田(齊藤)妥子(高十七) 日野原茂夫(高二十) 柳嶋洋(高三十七)

柏豊会一般会計 平成24年度決算・平成25年度予算

(単位:円)

貸借対照表 平成25年3月31日現在
収入の部 24年度決算額 25年度予算額 摘要
支出の部 24年度決算額 25年度予算額 摘要

負債の部+資本の部 14,070,721

上記の通り決算報告いたします。

監査の結果、適正であることを認めます。

平成25年4月14日 会計 岡野紘基 会計 大平正子

平成25年4月14日 会計監査 豊島宏之 会計監査 森 淳

代議員会の報告

二十五年四月十四日午後、豊島高校大会議室にて開催。母校佐藤副校長出席。参加十四名。議長に木村副会長を選出し、以下審議・報告を行いました。
二十四年度事業報告 代議員会・幹事会(十回)・会報発行。親睦会は新卒十四名を含む八十名が参加。九月母校文化祭時、同窓会サロン運営と特別講演会(豊島会・PTA共催)開催。同窓会ホームページのリニューアルの実施。新卒生に卒業記念品贈呈。幹事代表が学校運営連絡協議会に参加。
二十四年度決算・監査報告 上表参照
二十五年事業計画 幹事会(九~十回)・六月二日親睦会・会報発行。九月文化祭時に同窓会サロンの開催、公開講座を検討。同窓会ホームページの活用強化。部活動支援の為に学校援助金など。
二十五年年度予算 上表参照
柏豊会への連絡 柏豊会及び各幹事への連絡は幹事一覧下の連絡先まで。折返し担当幹事から連絡しますが、時間を戴く事があります。尚掲載内容は会員連絡用として本人同意の下掲載していません。会員外に開示しない等、本紙取扱にご注意下さい。

教職員の異動

(順不同・敬称略)
着任 ▼佐藤昭二(副校長)雪谷高(定)から ▼糸井明子(国語)高島高から ▼濱上圭子(国語)練馬高から ▼石鍋雄大(国語)新任 ▼兼近光明(数学)清瀬高から ▼五味淳(数学)足立新田高から ▼雨宮博一(数学)小岩高から ▼戸谷明子(理科)新任 ▼西村昌弘(保体)新任 ▼笠井修(英語)大泉桜高から
退任 ▼内津和雄(英語)
退任は三月三十一日付、転任は四月一日付、転任は三月三十一日付です。
転任 ▼鶴田秀樹(副校長)小山台高へ ▼荻原士信(国語)板橋高へ ▼土谷理枝子(国語)保谷高へ ▼沖奈保子(国語)両国高・両国付属中へ ▼山本豊(数学)大泉桜高へ ▼大和田哲也(数学)青梅総合高へ ▼大内豪(数学)深川高へ ▼鍋田修身(理科)保谷高へ ▼富澤清(保体)桐ヶ谷高(定)へ

柏豊会 幹事一覧 2013年(平成25年) 4月現在

Table with 4 columns: Position (会長, 副会長, 会計, 会計監査, 幹事), Name, and corresponding school/grade (e.g., (高14) 鈴木優子, (高15) 渡辺尚夫, etc.)

柏豊会・幹事への連絡、問い合わせは以下へお願いします

電話 090-4228-8758 FAX 03-3972-4037

(担当・鈴木)

メールアドレス member@hakuhou.biz

郵便 〒171-0044 豊島区千早 4-9-21 豊島高校内「柏豊会」宛





豊島高校在学中、東西冷戦での「キューバ危機」があり、社会主義国家への怖さを学友と話あった記憶がある。そんな社会主義国家もペレストロイカによるソ連崩壊など激動の時代を迎える。モンゴルにもペレストロイカによる波が押し寄せ、一九九一年に社会主義国から自由主義国へと変遷した為、日本の政府開発援助(ODA)の援助対象国となった。そして国際協力機構(JICA)当時国際協力事業団)が首都ウランバートルに事務所を開設することになり一九九五年に私のモンゴル赴任が決まった。

モンゴルはロシアと中国の二大国に国境を接する内陸国で、地図上では日本からそれほど遠くないものの、実際に渡航するのは簡単ではなかった。司馬遼太郎は一九七三年、三日間かけてモンゴルに行っている。新潟から空路ハバロスクへ、同地で一泊し国内便でイルツツクに到着。更に一泊してそのこのモンゴル領事館でビザを取得し、三度乗り換えウランバートルにたどりついている(街道をゆく・モンゴル紀行)。開高健は淡水の巨大魚「イトウ(タイメン)」を釣りに一九八六年ウランバートルに列車で入ったが、成田から北京まで四時間、北京からウランバートルまで三十時間の長旅だった(オーパ・モンゴル編)。

ンバートルに着く二日かかるとの行程であったが、二〇〇二年の二回目の赴任では片道四時間ほどの成田ーウランバートル直行便が開通しておりモンゴルが急速に近くなったことを実感した。

首都ウランバートルにはビルが建ち並ぶが、少し車を走らせればそこは草原の国、広い空と果てしなく続く大地へと景色を変える。ある夏、四輪駆動で地方に出張した際、大草原の小高い丘に馬と共に佇む赤銅色に日焼けした老人に道を訪ねて近づいて行った。目的地を尋ねると「ここから二十キロ」と答える。道中、誰に聞いても「ここから二十キロ」と言われ、首をかしげたが、どうも彼らの「遠い」を表す言葉が「二十キロ」であるらしい。

この丘の上で何をしているのか尋ねると、眼下に広がる緑の草原に映る数百頭の白い羊の群れを顎で示し「狼!」という。現在でも七十万〜八十万頭いると言われる狼は遊牧民には怖い野獣である。数百頭もの羊をどうやって一人で管理するのか聞いてみた。すると「羊は臆病で冒険をしないから周辺の草を食べ尽くしてもそこにいる。ヤギを一割ちよっと入れるとヤギは新しい草を求めて小川でも障害物でも乗り越えて移動する。その後を羊は追っていくのさ。でも二割を超えようとんでんばらばらに散ってしまう。」と語った。

短い夏の間家畜に十分草を与えて太らせないとマイナス四十度にもなる長い冬は越せない。四千年の遊牧の民の知恵を垣間見た。別れ際「年はいくつ?」、にっこり笑って老人は「五十八歳」と答えた。なんと私と同じ年齢であった。

大草原に点在するゲル(中国では包・パオ)は遊牧民の移動式住居であるが、写真のように円形である。この形はモンゴルでの厳しい気象条件を巧みに克服している。モンゴルは風が強く砂嵐もめずらしくなく、六ヶ月以上続く冬は寒気と風との戦いの季節でもある。この円形は強い風を逃し崩壊を防いでいる。ゲルの中では中央に置かれた牛糞を燃やして調理するストーブから出る熱気がすぐに内部を温める。牛糞を集めるのは子供たちの仕事であり、遊牧民は一家で働く。すべてのゲルは入口のドアを南に設けるので、天窓から差し込む太陽の光が時計の役割を果たし、内部のどこを照らすかで時間が分かるようになっていく。

解体、組立にそれぞれ三時間もあれば彼らはやってのける。彼らが冬を越したゲルの跡には円形に羊の糞がびっしり敷き詰められている。地面から来る冷気を防ぐ手段として利用したもので、これも彼らの英知から産まれた自然の断熱材なのだ。

歴史的に日本とモンゴルとの接点は鎌倉時代の元寇と第二次世界大戦でのノモンハン事件(モンゴルではハルハ川の大戦争と呼ぶ)の二つしかなかった。どちらも双方が武器を持って戦った歴史であった。その両国が親善を深め双方の理解を深めたのがモンゴル力士の活躍だろう。もともとモンゴルにはモンゴル相撲があり、国民には人気のスポーツである。日本人と同じモンゴロイドであるが、彼らの骨密度は日本人より二十%も高いと日本からの医療調査団から聞いたことがある。確かにモンゴル力士が骨折で休場などとい

うニュースは聞いたことがない。大相撲を見ると、モンゴル力士の故郷の大草原を連想し異文化への興味をお持ち頂けたら幸いです。



編集後記

今年この会報を手にとられて、あれっと思われた方も多いのではないのでしょうか? 今回会報をリニューアルしました!

B5サイズからA4にしたことで大きく見やすくなったと思います。これは今回業務効率化のため会報の発行を株同窓会事務局に変更したことによりです。これまで幹事の一人の方に編集長の役割をはじめ隔々まで頼りながら会報を作成して来ましたが、大変お世話になりましたが、諸事情により今回の態勢になりました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

【注意】本誌の情報(記事・図表・写真等含む)は柏豊会会員を対象とした当会員に限り情報提供者から許諾を得て掲載しています。本誌の複製・転載・電磁媒体加工等は、事情を問わず一切許諾致しませんのでご注意ください。

柏豊 58号

2013年(平成25年)5月15日発行
© 柏豊会 2013 / 本誌は非売品です

【注意】掲載情報の二次利用及び本誌の転載・複製等を厳禁します

制作・著作 柏豊会
(第十高女・豊島高校同窓会)
会長 鈴木優子
〒171-0044 東京都豊島区千早4-9-21
豊島高校内
FAX 03-3959-8590

印刷 同窓会事務局

《会報編集委員》

- | | | | |
|----|----|----|----|
| 尾崎 | 三重 | 木村 | 一子 |
| 恩田 | 豊昭 | 島貫 | 子淳 |
| 小泉 | 昭美 | 綿貴 | 明 |
| 小川 | 美子 | 森前 | 史 |
| 野木 | 子 | 赤 | 保 |
| 平 | 子 | | |
| | 正 | | |